

千葉労働局長による建設工事現場の安全パトロールを実施しました

～令和4年度 熱中症予防対策重点取組期間の一環として実施～

県内の労働災害が多発していることを受け、7月8日、報道陣公開のもと千葉労働局長による建設工事現場の安全パトロールを実施しました。

千葉労働局長は今回のパトロールを通じて、労働災害防止対策の更なる徹底を呼び掛けました。

また、7月・8月は令和4年度「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間であることから、熱中症予防対策の取組を喚起しました。

パトロール工事現場

施工者：大成・鶴沢建設共同企業体

工事名称：千葉市新庁舎整備工事

所在地：千葉市中央区千葉港

労働局出席者

江原由明 千葉労働局長、市倉健人 千葉労働基準監督署長ほか

【パトロール概要】

パトロール冒頭の挨拶において、千葉労働局長は「今年の県内の建設業における災害発生状況は昨年より増加となっており、極めて厳しい状況にあります。加えて、今年は長丁場の暑さが見込まれ、熱中症予防対策にしっかりと取り組んでいただきたい。パトロールを機に改めて、職場の安全衛生の重要性をご認識いただき、労働災害防止活動への取組をお願いしたい。」などと話しました。



施工状況を説明する作業所長(左)

また、現場巡視後、局長からの質問を通じて、熱中症予防対策をはじめとした災害対策が十分になされていることを確認しました。

最後に千葉労働基準監督署長より講評を行い、重篤災害のリスクの見える化・共有や、近年増加傾向にある低所からの墜落・転落防止措置などが図られているなどいずれも良好であったと総括し、パトロールは終了となりました。

作業所長から工事概要について説明を受けた後に現場巡視を始めました。

現場巡視では、熱中症の対策・教育が講じられているか、高所作業が安全に行われているか、転倒予防の対策が講じられているかなど、災害防止対策が適切に行われているか、直接確認しました。



作業所長に質問する千葉労働局長(右)